

さあ 脱炭素 経営に 挑戦だ。

Let's challenge, Decarbonized management!

はだの脱炭素コンソーシアム(第8回定例協議会)
－ 振り返りと近況報告－



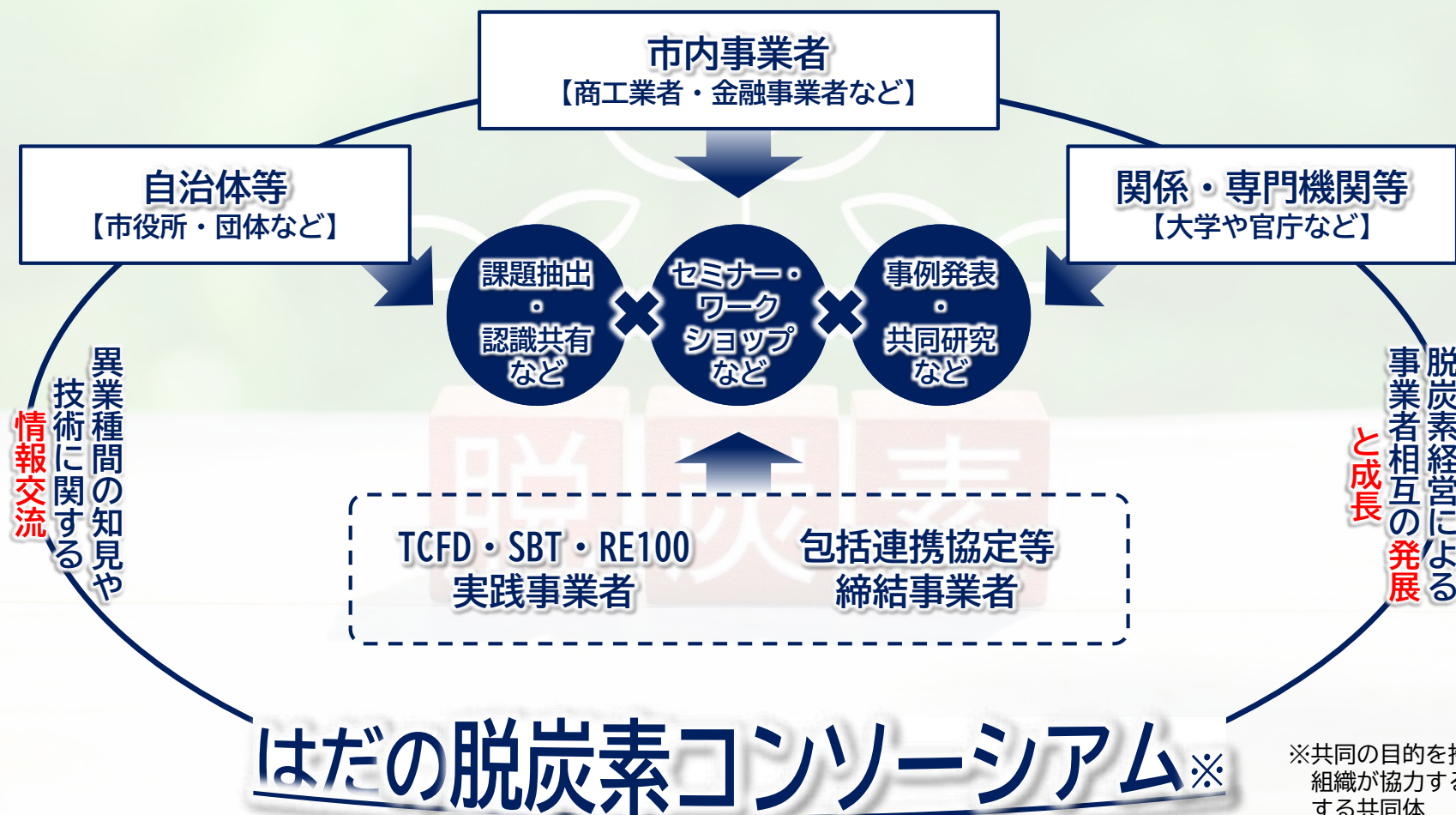
令和8年8月25日
はだの脱炭素コンソーシアム事務局

振り返り（脱炭素コンソーシアムとは）

➤ 持続可能な取組として

本市域を中心に活動する事業者が、SDGsやESG投資に代表される“脱炭素”をキーワードとした事業経営の潮流に取り残されることなく、産業界では「優良なサプライチェーン」として、他の業界でも「地域の範たる事業者」として持続可能な発展と成長を遂げられるよう構築していくこととし、その成果は、地域脱炭素への産物として還元されることを期待するものです。

ご参画いただいた皆様で創り上げていく共同体ですので、皆様が抱える“悩みや課題”が運営のカギとなります。



振り返り（定例協議会）

➤ 会議運営について

令和5年度設立から4年目を迎えますが、この間、「脱炭素経営に取り組む事業者によるセミナー」や「肩ひじを張らない意見交換会」などを軸に会議を重ねるとともに、令和7年度は、市がPPA方式により導入した太陽光発電設備の視察や脱炭素系ポータルサイト「はだのde脱炭素」において、2社程度の企業取材を掲載するなど、地道に**地域脱炭素の推進**を進めてきました。

日 時	内 容	参加事業者数（秦野市役所含む）
R5.6.2(金)	設立総会・第1回定例協議会	25事業者／41名
9.15(金)	第2回定例協議会	20事業者／26名（WEB：少数事業者）
12.5(火)	脱炭素事業経営セミナー	11事業者／15名（WEB：少数事業者） ※他市事業者、大学生及び市議会議員の参加有
R6.3.8(金)	第3回定例協議会	11事業者／13名（WEB：9事業者）
7.12(金)	第4回定例協議会	18事業者／24名（対面のみ）
R7.3.11(火)	第5回定例協議会	10事業者／15名（対面のみ）
7.8(火)	第6回定例協議会	23事業者／35名（対面のみ）
R8.3.11(水)	第7回定例協議会	24事業者／28名（対面のみ）
8.25(火)	第8回定例協議会(今回)	

参考：参画事業者数 【設立時】35事業者・団体 ⇒ 【現時点】52事業者・団体



そうした中で、事業活動と共存する地域脱炭素の推進には“できること・できないこと”あるいは“やりたいこと・やれないこと”など、事業者間における**様々な温度差があることも実感しています。**

事務局としては、**情報提供・共有、さらには、参画事業者の脱炭素活動を多方面から支援（ポータルサイトを活用した情報発信など）**し、皆で意見や知恵を出し合い共創できる場を整えながら、**一步一步伴走**していきます。

- 1 第17回秦野市植樹祭参加報告について（令和8年5月16日@弘法山）
- 2 「ゼロカーボンシティはだの」実現に向けたCO2排出量削減現状について
- 3 市域の脱炭素化を推進する施策の取組み状況について

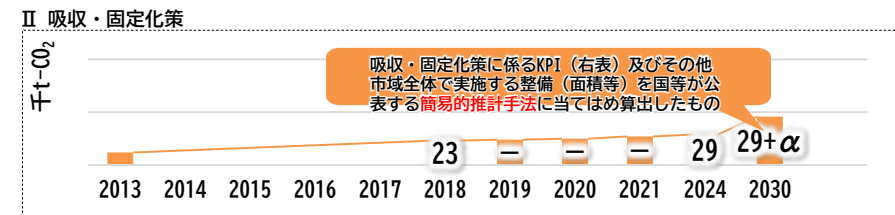
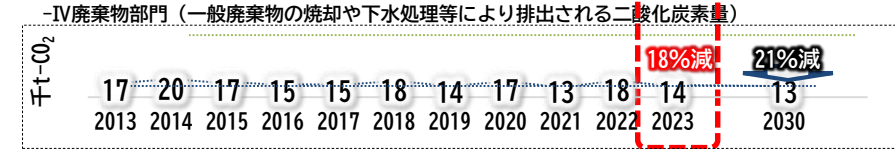
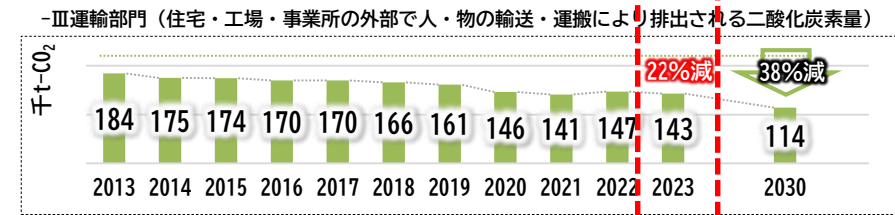
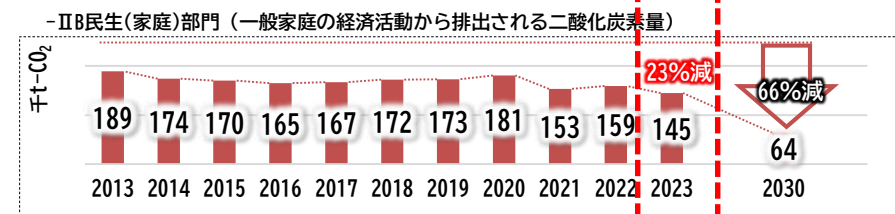
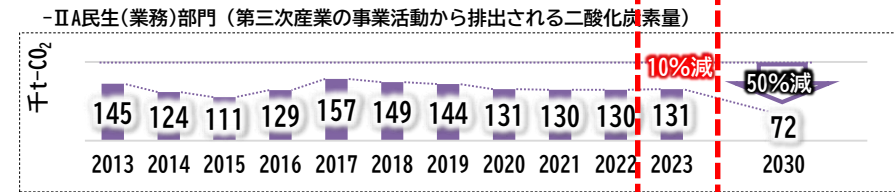
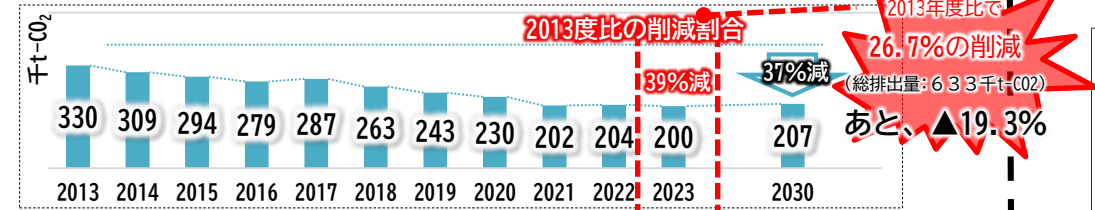
第17回秦野市植樹祭参加報告について【令和8年5月16日(土) @弘法山】

- 当日は晴天にも恵まれ、参加者全体でミツマタやイロハモミジなど200本の植樹を行い、今回の植樹で、**約733kg-CO₂の吸収**に貢献できました！
- はだの脱炭素コンソーシアムからは、株式会社NITTAN、秦野ガス株式会社、株式会社リンレイ秦野工場、UMC・Hエレクトロニクス株式会社、岳石電気株式会社、Astemo株式会社秦野工場、明治産業株式会社、秦野市役所の8事業者30名が参加しました。

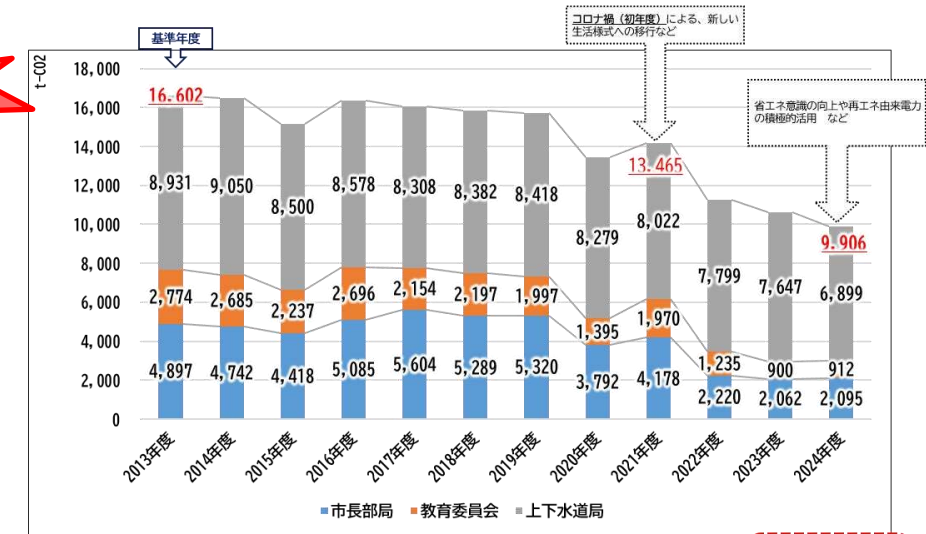


近況報告②「ゼロカーボンシティはだの」実現に向けたC02排出量削減現状について

■区域施策編（秦野市域）における部門別削減量及び吸収・固定化量の推移
-Ⅰ産業部門（第一次及び第二次産業の事業活動から排出される二酸化炭素量）



■事務事業編（秦野市役所）における二酸化炭素排出量の推移



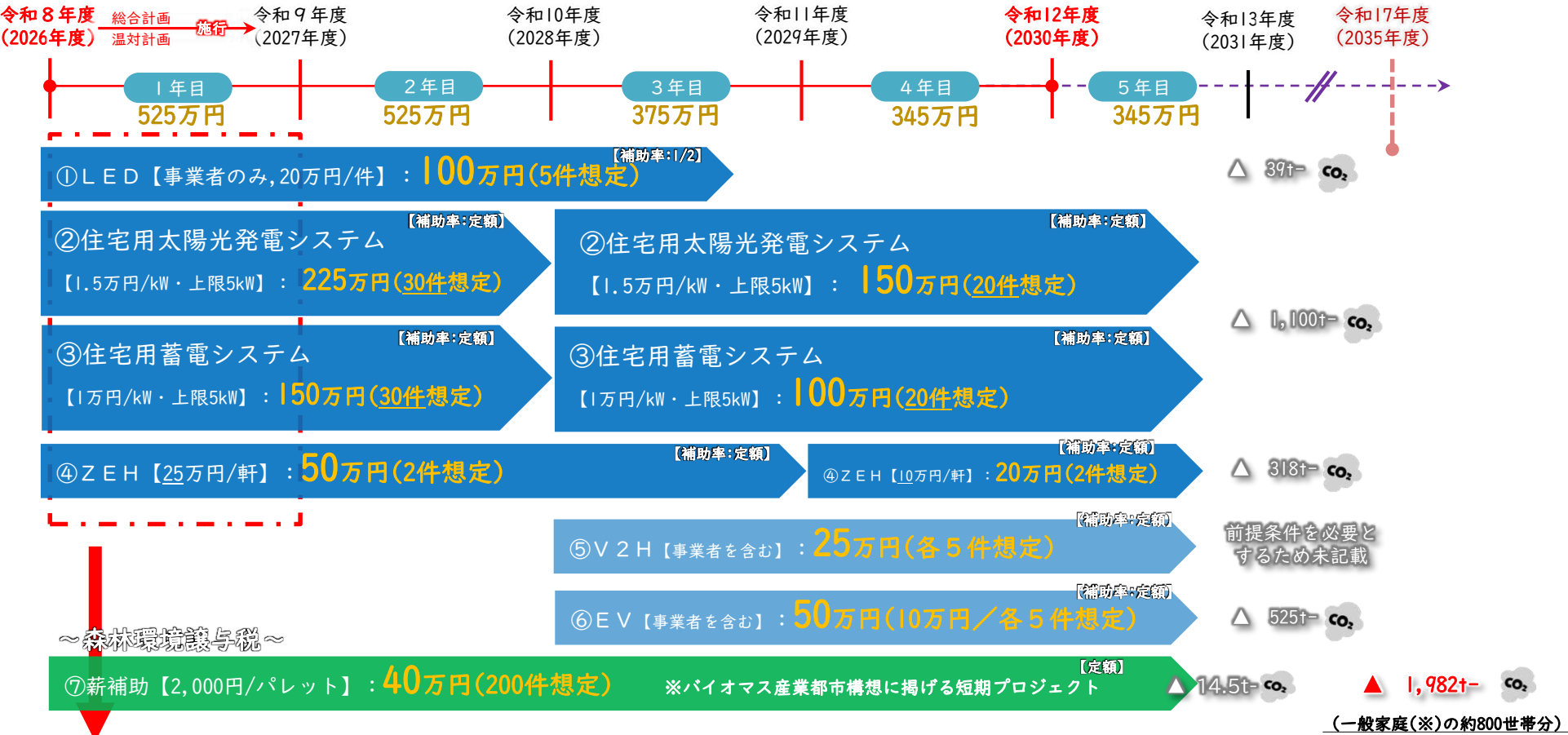
種類	排出要因	H25(2013)	R04(2022)	R05(2023)	R06(2024)
二酸化炭素 (CO2)	一般炭	-	-	-	-
	ガソリン	297,385	278,756	278,741	268,612
	灯油	477,724	73,432	131,335	166,387
	軽油	150,167	129,682	123,292	111,518
	A重油	-	-	-	-
	LPG	161,255	995,649	947,272	1,008,256
	天然ガス	62,238	-	-	-
	都市ガス	575,881	456,377	488,168	551,918
メタン (CH4)	電気使用量	14,877,576	9,321,364	8,641,114	7,800,152
	合計	16,602,226	11,255,263	10,609,923	9,906,843
一酸化二窒素 (N2O)	車	404	376	385	364
	下水処理	248,134	279,952	275,670	269,982
HFC	合計	248,538	280,328	276,055	270,346
	車	9,802	8,508	8,750	7,810
温室効果ガス総排出量	下水処理	629,642	712,919	695,864	724,627
	合計	639,444	721,427	704,614	732,437
対前年比	エアコン使用	-	-	-	-
	対前年比	-	79.6%	94.6%	94.1%
対25年度比	対25年度比	-	70.0%	66.3%	62.3%

温室効果ガスに占める 二酸化炭素排出量は、	90.8%
うち、電気使用量に由来する排出量は、	78.7%

近況報告③－１ 市域の脱炭素化を推進する施策の取組み状況について

ゼロカーボンな暮らし創出補助金

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、令和8年度からのゼロカーボン全体の取組みを広めるため、家庭における省エネルギー及び創エネルギー化を進める補助制度を創設



6月15日
受付終了
(R8.5.1~6.15)

事業名	LED	太陽光	蓄電池	ZEH
件数	5件／5件	31件／30件	31件／30件	2件／2件

近況報告③－ 2 市域の脱炭素化を推進する施策の取組み状況について

省エネ家電買い換え促進事業

国の物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金を活用して、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、家庭における「脱炭素化」を進め、エネルギー消費量の削減を図るため、家庭用エアコン・冷蔵庫の省エネ機器を取り入れるために必要な費用の一部を補助するもの。

実施期間

令和8年7月1日から令和9年3月12日
(予算上限に達し次第、終了)

補助内容と対象世帯数

家庭における省エネ家電製品の購入費及び設置費の1/3
(上限5万円)

対象世帯数：750世帯

加算措置：OMOTANポイントでの受取(5千ポイント)
市内本店での購入(1万円)
非課税世帯(1万円)

補助要件

- ✓ 既存の家電を多段階評価点3.0以上(新ラベル)／★3以上(旧ラベル)のエアコン・冷蔵庫に買い換える場合
- ✓ 1世帯当たり1回(2台)まで
- ✓ 市内の販売店で購入

事業費

41,252千円

受付状況(8月18日現在)

701件／750件(93.5%)



近況報告③－ 3 市域の脱炭素化を推進する施策の取組み状況について

「脱炭素はだのグリーンネットワーク」との連携について

令和7年度、県の「地域向け脱炭素普及啓発事業」として、市民が脱炭素社会の実現に向けて意見交換を行う「脱炭素はだの市民会議」が本市で開催されました。

後継の市民団体として「脱炭素はだのグリーンネットワーク」が組織され、市民ができる脱炭素アクションについて研究を深めるほか、市民提案内容の周知について、市のイベントに展示出展をするなど連携を重ねています。

市（事業者）

秦野市地球温暖化対策推進本部において、提案された内容について検討を進める。

市のイベント等に参加していた
だき、脱炭素に関する啓発をして
いただくことで、家庭部門におけ
る脱炭素化の推進を図る。



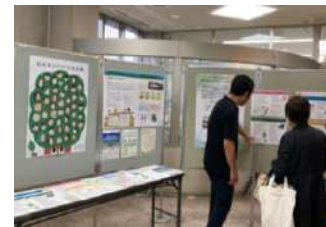
市民

脱炭素はだのグリーンネットワーク

脱炭素はだの市民会議に参加した市民有志が立上げた、市民目線での脱炭素化を目指す団体

- ・第0会（3/29） 参加市民： 3名
- ・第1会（4/26） 参加市民： 6名
- ・第2会（5/24） 参加市民： 12名
- ・環境フェスタ（6/27） 参加市民： 8名
- ・名水フェス（8/1） 参加市民： 7名
- ・市民の日（11/3） 参加予定

※その他随時オンライン会議を開催



環境フェスタへの出展

コンソーシアムのお約束（ひとごと→じぶんごと⇒みんなごと）



脱炭素社会は、**みんなごと** の意識で創り出そう！！



ご清聴ありがとうございました。

